

阿智村事務事業評価シート

事務事業名	若者定住促進住宅新增改築等支援金	担当者	協働活動推進課 定住促進係
-------	------------------	-----	---------------

①事務事業の概要

総合計画での位置づけ	5.持続可能な村、住民が主体の村/定住人口の増加/若者定住
関連する主な計画等	
根拠法	
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他
事業の対象者	移住、定住者 新築、増改築、宅地、中古住宅取得者
事業開始年	H16 <input type="checkbox"/> 時期不明 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の終期 <input type="checkbox"/> 終期末定

②事務事業の計画(PLAN)、取組(DO)

実施目的	定住人口の維持、増加を図るため、本村に定住のために住宅の新增改築、住宅用地の取得及び中古住宅の取得をしようとする者に対し、支援金を交付する。
------	--

具体的取組	平成28年3月までと期間を定めた制度であった若者定住促進のための住宅新增改築等支援金と集落定住者維持のための住宅新增改築等支援金を新たに「定住促進のための住宅新增改築等支援金交付要綱」として平成28年度より開始した。 <input type="checkbox"/> 41歳未満の若者 限度額 新築100(120)万円 増改築50(70)万円 宅地、中古住宅取得100万円 <input type="checkbox"/> 41～51歳未満の定住者 限度額 新築50(70)万円 増改築25(45)万円 宅地、中古住宅取得70万円 * ()内は村内事業者との請負契約により建築工事を施工した場合、又は建築に係る2業種以上で村内事業者が工事を施工し、その建築工事費が100万円以上かつ1業種が30万円以上の場合とした。
-------	--

実績・効果	若者定住促進のための重点事業の一つである。村内の若者が他地域へ住宅を求めるとはならず、村内に残ってもらうことが出来る。約3割の人が他地域から転入し制度を利用している。
-------	---

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	件数	支援金 千円
新築	10	12	12	17	9	18	18	19	8	17	14	16	170	177,651
用地購入	1	4	5	9	6	8	8	10	3	9	3	7	73	64,569
増改築	4	4	6	6	6	3	4	3	2	2	2	1	43	21,545
中古住宅購入	0	1	1	1	1	1	3	2	2	2	1	3	18	14,821
	278,586													

歳出の内訳 (千円)	項目	金額	項目	金額	項目	金額
	負担金補助及び交付金	24,196				

事業コスト	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	実績額 (千円)	29,858	20,202	24,196	15,000	15,000
うち一般財源	29,858	20,202	24,196	15,000	15,000	
うち補助金						
うち個人負担						
従事職員 (人)	正規職員	1	1	1	1	1
	臨時職員					

③評価(CHECK)

区分	個別判定	判定理由	総合判定
必要性	住民のニーズは高いか	b 毎年、この利用者は多い。	B
	手段、成果は妥当か	b 移住定住者の確保が図られている。	
	対象者の設定は妥当か	b 51歳未満を対象とし実績からも妥当である。	
	村の関与は妥当か	b 定住施策の一つとして重要である。	
有効性	期待された効果が得られたか	毎年、一定の実績はあり定住者の確保につながっている。	B
効率性	コストの削減に努めたか	a 定住者を確保するための施策として経費は必要	B
	効率性を高める工夫はされたか	b 制度を統合し、細部についても見直した。	
公平性	受益者負担は適切か	限度額以上は受益者 支援金交付後も10年以内の移動では返還	B
総合評価	B		

④改善(ACTION)

事業の方向性	継続・維持
課題	若者定住促進のための重点事業の一つとして、現状の制度を検討し、二つあった要綱を一つにまとめ長期的な制度として28年4月より運用を開始した。
今後の取り組み	28年4月より運用を開始した制度であり、支援金額も高額であり制度に不具合がないか随時検討していく。